

就任のごあいさつ

FF広島 会長 弓手 博



今年度すでに各地区におきまして、活発かつ多彩な活動を展開していただき心から感謝しています。5月には、三次地区の皆さまのご協力により、こうぬカーターシビックセンターにハワイご出身のRobb Lee先生を迎え、楽しくユニークな参加型の会員研修と、キーボード演奏による歌交流とトークを中心としたなごやかな親睦会を合わせて行うことができました。続いて6月には、広島地区においてFF広島なでしこ会が発足、ここでも受け入れに向けて熱心な研修と親睦を深めていただきました。三次におきましても広島におきましても、ハワイの歌・Pearly Shellsや日本の歌・ふるさとなどが定番プログラムとなり、あらためてLearn borderlessly, serve locally.着眼大局、着手小局への思いを深めました。同じく6月に実施しました、広島と山口クラブ合同渡航によるホノルル交流は、EDを務められた猪原俊郎事務局長のキメ細やかなアレンジ、そして皆さまのFF的チームスピリットと国際親善への行動力により、生涯忘れることのできない思い出の多い「ふれあい体験」になりました。ホノルルクラブのハンサム・ウーマン、ハンサム・ゼントルマンから受けた暖かいホスピタリティーは、広島クラブとして次の受け入れクラブへ広島らしいホスピタリティーをお返しすることによって、世界のクラブから「最も行ってみたい広島クラブ、最も会いたい人々」につながっていくものと確信しています。旅の価値は今や、小田 実の「何でも見てやろう」から「ふれあいと絆を実感する」旅へと急速にシフトしています。ステイブン・リーパーさんが言われたPeace Cultureを世界に普及することのできるヒューマン・システムとしてのFFは、日本的「和」の好循環Circle of Peace & Harmonyとも符合するものと思っています。

さて、7月には、FF広島福山地区の国際交流が、これまでの活動実績をもとに評価され「福山市協働のまちづくりモデル事業」の指定を受けました。世界の歌交流を通して「心がふれ合う」参加型のWarm Japan プログラム、日本文化体験のCool Japanプログラム、産業社会を研究するBusiness Japanプログラム、そして、未来を担う若者たちと語るSchool Japan プログラムなどの計画を進めています。穴吹調理製菓専門学校からは、調理体験から試食まで一連のWashoku体験プログラムのパッケージを提供していただきました。また、こちらからのオファーに応え、サウスウエストフロリダクラブでは、訪問先の学校でフロリダ紹介プレゼンを行うために、グループでPP画像の作成に取り組んでいるとのメールが届きました。Scratch my back, and I will scratch yours.をつくづくかみしめているところです。

ヒロシマ平和巡礼

FF広島 顧問 森川 高明



フレンドシップ フォース広島が、2004年5月29日、こうぬ国際交流協会を母体として産声を上げてから、来年で10周年を迎えます。その後、2008年には広島支部が、2009年には尾道（後の福山）支部が設立され、同年7月4日、本部・支部制を廃止し、新生FF広島として統合再編成されました。この機を転機として、FF広島は「トライシティ」の特色を活かしながら、FFの原点である「受入・渡航」の確実な実施、「会員さんの満足度」の向上、「イクオールパートナーシップ」の尊重を念頭に執行役員一同努力を続けてきました。十分な成果を挙げ得なかった部分もありましたが、任期が満ちたので退任を決心し、弓手さんにバトンタッチしました。

発足から今日に至るまでの約10年間、FF広島の成長を見続けた者のひとりとして感慨深い思い出があります。それは、2012年のFFIワールド カンファレンス広島招致です。当初は、四国を含めた「ヒロシマ巡礼」というアイデアで弓手さんと共に熟慮を重ね、企画書「ヒロシマ平和巡礼」にまとめてFFI本部に提出に行ってもらいました。2009年の沖縄大会の中止を機に、広島へのFFIワールドカンファレンス招致に方向転換、FFI本部への積極的な働きかけが効を奏して広島大会が決定しました。それは、私たちの「ヒロシマ平和巡礼」が決まった瞬間でした。その結果、広島大会に国内外から参加した400名のだれもが「ヒロシマ」の意味を感じ取ってくれたと確信しています。

フレンドシップ フォース インターナショナルの創始者のひとり、ウェイン スミスが、2001年9月11日のNYCの貿易センタービルでの惨劇に心を痛めた結果、宗教の壁を越えた理解と友愛による平和を求めて、2002年トルコに向けた巡礼の旅を実施しました。参加した40人の巡礼者がその中で得たものは、その後のそれぞれの人生に大きな影響を与えたといわれています。この例に倣って、「ヒロシマ平和巡礼」が行われたのは事実です。昨年11月、退任を発表した、ジョージ ブラウン前会長のお別れの手紙の一節をもう一度読み直してみたいと思います。

“Looking back over all my years at the Friendship Force there have been many great moments, but none more meaningful than the recent conference in Japan, with the theme ‘Hiroshima for Peace and Friendship.’ I wish all our members could have shared that experience as we reaffirmed the original goal of Wayne Smith and Carters to use friendship as a powerful force and understanding in the world. Our mission is as relevant today as it was 35 years ago, and I urge all of you to continue on this road we have travelled together”

FFI 第5代会長にJoy DiBenedetto さん就任

George Brown 会長の後任に、FFI 理事会は、第5代会長に、Joy DiBenedetto さんを任命しました。Joy DiBenedettoさんは、アトランタを拠点にCNNでジャナリストとして、また、CARE (Relief Agency) で、世界中の貧困撲滅に尽力されてきているキャリアをお持ちの方です。7月15日に就任され、正式には、ニューオーリンズの世界大会でFFIのメンバーに紹介されます。新会長のもとで、新たなFFIの活動が期待されます。



Joy E. DiBenedetto,
President/CEO
Friendship Force International

FFI会長 就任のごあいさつ

Dear Friendship Force friends across the world,

Hello! It is truly an honor and privilege to write to all of you, the amazingly dedicated members of Friendship Force around the globe. I want to thank you for having me here, and I'd like to express my sincere gratitude to the Board of Directors for electing me to the position of CEO for such a respected and important organization.

I promise to work as hard as I can to fulfill the mission and vision which all of you have endeavored to achieve over so many years - waging peace and friendship worldwide. The effort which has been undertaken over the last 36 years by FF members has been nothing short of awe inspiring; and we will stand on the strength of these noble accomplishments as we make our way into a bright and productive future together.

I've now been here with the wonderful team at FFI headquarters for about a month, learning the Friendship Force ways and all about the incredible work of our entire organization. So many of you have already welcomed me with kind words and generous gestures, and I am overwhelmed by your thoughtfulness even as I am just getting to know you. I hope that over the next year we each have the chance to meet, either in person, on an exchange, or at a Friendship Force meeting somewhere in the world. Also, I would love to connect with you on social media!

Many of you may know that my background is in media, and that I have also spent time as a social worker, a humanitarian press officer, and as a travel agent - with many side activities along the way. My interests are wide, deep, and definitely global. But I have always worked to achieve the "we" in all my pursuits: in what unites us as a world family, not what divides us.

This is why I believe so very much in the mission of Friendship Force and in the important legacy we are all building for ourselves, our families, our friends and indeed for the future good of the world. I want us to go out and make friendships where we've never been before, and in ways we've never even dreamed.

It's an exciting time to be involved with FFI! And I hope our cooperative work will be as forward-thinking and dynamic as possible, with the sharing of innovative ideas at the core of our efforts. Preparing ourselves and our members for the next stage of our history will take every one of us working together to be successful.

As I've been saying to the team here, I have so many ideas for our future myself, but I am well aware that the strength and vitality of FFI rests with the thousands of FF leaders who shape the future of our organization through their own initiatives and efforts every day. Over time, we will build what is to come from here collaboratively and collectively.

Please don't hesitate to reach out to me or to any of the fantastic members of our staff in the US, Germany and Japan should you have suggestions, questions, or if we can be of help to you in any way.

I look forward to sharing more with all of you soon. But for now, I'd like to challenge us to continue to be a 'force of friendship' throughout the globe. With a simple hello, a smile, or a handshake - we can indeed change the world.

With gratitude and friendship,

Joy

**CHANGING THE WAY YOU
SEE THE WORLD**
thefriendshipforce.org

FFホノルル渡航（ダイジェスト報告）

今年のアウトバウンド交換は山口クラブとの合同渡航で総勢12名のアンバサダーが6月6日に日本を出発しホノルルクラブを訪問、ハワイアンホスピタリティを全身に受け、楽しい思い出と共に6月16日に帰国しました。ホノルルではホームステイをしながら下記の交流をしました。



6月6日（木）：Koko Caféにて歓迎昼食会

6月7日（金）：午前 日本文化センター見学、午後 Kamaka Ukulele工場見学
及びカメハメハ大王像の Draping Ceremony 見学

6月8日（土）：ホストと共にフリータイム、夕刻 Tanaka of Tokyo にてMAHALO DINNER(アンバサダーがホストに感謝をこめて招待するディナー)
アンバサダー全員で法被を着て“花”“ふるさと”“もみじ”を合唱

6月9日（日）：ホストと共に過ごすフリーデー

6月10日（月）：POLINESIAN CULTURAL CENTER見学

6月11日（火）：ホストと共に過ごすフリーデー夕刻ダイヤモンドヘッドが目の前に見えるRich and Alyse Cordeiro さん宅でPotluck Dinner

6月12日（水）：パールハーバーのSchooner's Restaurantにてお別れ昼食会、プレゼント交換
Judy Carson さんによるフラダンス、神森且視さんによる手品披露、交換終了。

6月13日（木）～14日（金）：オプションツアー、アンバサダー8名でワイキキのホテルステイ、ショッピング他、サンセットダイナークルーズ等フリータイムを楽しむ。

6月15日（土）：ホノルル出発、6月16日（日）帰国



今回のFFホノルルは、世界的に有名な観光地だけに欲張った事前の思惑も交錯した。歴史的・文化的・自然条件的な面と同時にこれ迄に経験した衣食住環境とは随分異なるものであった。特に、太平洋の海底火山から出来た常夏の島にポリネシア系民族を中心に多民俗・多文化共生の大観光都市に根付いたFF活動が先ず評価される。取り分け、今回のホストは大半が高齢化の中で精一杯の「モテナシ」の企画と実行には感謝の他は無い。交換行事でも、フローラル・パレード/日本文化センター/ポリネシア文化センターはハイライトであった一方、ダイヤモンドヘッド一周やハワイ大学、ホノルル出雲大社の他に日立のコマーシャルで有名なモンキー・ポッド大木の見学は、また別な経験が加わった。何はともあれ、全員無事の帰国は何よりで、改めてEDのご苦労に深謝したい。（山本和俊）

ホノルル空港で出迎えて貰ったホストのLeta Wright さんは、白髪でピンクのムームーとサンダル姿でした。彼女と過ごす内にマナーに厳しく、然し、にこやかに誰彼と無く声を掛け、その場の雰囲気を一気に和ませる魅力を持った75歳の女性でした。毎日、色の異なる鮮やかなムームーを着て、長年ワイキキ・ホテルのサービス業に従事していた関係なのか、ホノルルの事は私に任せなさいと、フリー・デイには青い空、美しい海、白い砂浜、色取り取りに咲く花等々、ワイキキ以外の美しい景色を見ながらのドライブが出来たことは夢の様で、この様な風景は決して俗化して欲しくない思いでした（山本喜久子）



（4ページへ続く）

FFホノルル渡航（ダイジェスト報告）

私のハワイ訪問は7、8回で今回を除いてすべて観光目的でした。つまりワイキキの浜辺で遊び、ダイヤモンドヘッドを眺め、クルージングで沖合をさまよい、ハワイの島めぐりツアーに参加して、ハワイのことなら全部知り尽くしたと思っていた面はありました。

ハワイのFFの方との交流は会話の出来ない私でも最初から何年来の知己のように全く肩が凝らない、そしてストレスのない穏やかな雰囲気のものでした。

ホストさん達には約10日間変わることなく私たちを暖かく、親切に、優しく本当に真気で接待して頂きました。観光旅行では味わうことができないFFの素晴らしさを感じているところです。（神森目視）



私達のホストは80歳のご高齢の一人暮らしのおばあちゃんなので、家事を私が手伝いすると心に決めて、出発しました。実際ジョイスおばあちゃんとお会いすると、自分は余計な心配だと気付きました。夜は私達より遅く寝て、朝は私達より早く起きて、毎日、豪華な朝食を用意していただきました。手伝いはさせてもらいませんでした。とても素敵で格好いい方です。デイホストは75歳と73歳の牧師さん夫婦です。音楽好きな夫婦で、毎日あちらこちらへ付き合っていました。最後の晩は私たちをプール付きの自宅に招待してくれました。私も世界中旅します。旅の形は色々ありますが、やっぱりFFは1番ですね！（島崎京子）

旅の思い出その1、今や多くの日本人観光客で賑わうハワイにこんな歴史が。日本人移民史。排日世論や人種差別、厳しい労働に耐え、日本人としての矜持を失わず生き抜いてき「我慢、がんばり、仕方がない、忠義、感謝・・・おかげさまで」と彼らが懸命に生きてきた価値観に、私たちが忘れてはならない大切なものをつきつけられた思いであった。

その2、パールハーバーにて。今も船から油が浮いている光景や歴史の事実に胸を塞がれていると、彼女が言った。「昨年ね、ここでね、生き残った米人と日本人合同で慰霊祭が行われたのよ。

云々、だから、FFなのよ」。ヒロシマのできごととも重なり、心に沁みる言葉だった。ハワイの皆さん、目と目が会えば微笑みが返ってくる。Aloha spirits=FF精神。今回私たちは夫々魅力的な3人のホストにお世話になり、とてもよくしていただいた。人と出会うことの楽しさを大いに体験することができ有意義な旅だった。（谷口昌史、悦子）



今回は山口クラブからの4人の方のご参加をいただき近隣クラブとの交流も含め初めての合同渡航を経験させていただきました。私はFFの交換（Outbound）は今回で2回目ですが、ホームステイしてホストと生活を共にすることで単に旅行で訪問するだけの経験でなく短期ではありますが住民として異文化を体験し、違いと共通点を発見したり、共有する中で草の根の交流ができ、FFIのスローガンの“Change the Way You See the World”を実体験することができました。（ED猪原俊郎）

春季研修親睦会が開催されました



5月11日（土）午前11時～午後3時、FF広島発祥の地 こうぬシミーカーターシビックセンターにおいて、平成25年度春季研修・親睦会を開催しました。午前のプログラムは、Sharing Aloha・・・Participatory Presentation By Mr. Robb Lee（ハワイご出身、近畿大学附属中・高等学校で英語教育を担当、黒瀬コクサイ・タノシム・カイ主宰）。さすがハワイ出身の方らしく、歌とフラ、軽妙な語りかけと、全員参加のEdutainment。あっという間の1時間でした。



そして、12時から、Luncheon & Talk。午後1時からのプログラムでは、和気あいあいとした雰囲気の中、親睦と会員交流がワイワイガヤガヤと活発に進みました。中心的テーマ「FF広島全体の活動と3地区連携の可能性」のもと、意見交換と耳より情報の交換が行われました。三次地区からは、交流内容・交流方法の工夫の仕方、福山地区からは忘れがたい交流体験談が出されました。さらに、広島地区の方々には、今後のFF交流に生かせるよう、キーボード演奏による歌唱指導をしていただき、本当に密度の濃い有意義な午後になりました。

最後に、三次地区会員の方々には、会場準備、受付、昼食の準備など、様々なご心配ご迷惑をおかけしましたが、参加者一同楽しく快適な1日をすごさせていただきました。厚く御礼申し上げます。（弓手 博）

第1回「FF広島なでしこ会」が開催されました

7月1日月曜日、安部さん宅で、FF広島の女性会員を中心とした集まりが発足しました。参加者は、10名（特別参加、見学者を含む）でした。6月のホノルルクラブとの交流に参加された谷口さんの興味深いお話を聞き、沢山の写真を見せて頂きました。とても楽しそうで、来年の交流にはぜひ参加したいと思いました。

安部さんのピアノに合わせて、日本の四季の歌や「FFの歌」など英語の歌も出ない声を振り絞って熱唱しました。知ってる歌も知らない歌も楽しく歌えました。

お腹の空いたところで昼食はお好み焼き。谷口さんにお世話になりました。果物や手作りのお菓子などもあり、美味しく、おしゃべりが弾みました。これからのFFの活動についていろいろ建設的な意見が出されました。もちろんこの会は自由参加ですからどなたでもご参加ください。

次回は、9月2日月曜日、ポトラックパーティーで、海外の方へのお土産となるような「すてきな千代紙人形」などを山本さんから教えて頂きます。参加者の皆様、有難うございました。次回が楽しみです。（松本浩子）



新入会員紹介



桑田 慎一さん（福山地区）

FF広島クラブの皆さん、こんにちは！学生の頃横浜からモスクワ、ストックホルム、そしてヨーロッパ、北アフリカと、バックパッカーで旅しました！いろんな国の人にお世話になり、今度はお礼をしたくて何かお手伝いが出来ればと思っています。

近藤 裕吉さん（三次地区）

1998年に甲奴町交流訪問団の一員として、アメリカス市でホームステイを体験し、現在も英会話学習を継続中です。国の違い、文化の違いを越えて、理解を深めるホームステイの出会いを期待しています、よろしくお願いします。

白戸 亜希子さん（福山地区）

この度、酒井さんからの紹介でフレンドシップフォースの事を知り入会させていただきました。こういう活動に参加するのは初めてなので分からない事ばかりですが、どうぞよろしくお願いします。

これからの予定

- (1) ネブラスカ州オマハクラブ、アイオワ州のデモインクラブ、広島にストップオーバー（16名）

ED：井上久美子さん

- 2013/10/2（水）～5（土）
- アステールプラザホテル滞在。平和公園の案内と宮島観光を計画

- (2) サウスウエストフロリダクラブ受け入れ（21名）

ED：廣森彌生さん、Co. ED：猪原俊郎さん、東道淳子さん

ーフロリダ、オーストラリア、カナダの合同渡航ー

- 2013/10/8（火）～14（月）
- 福山地区14名、広島地区7名受入
- ホストファミリー：

広島地区（谷口さん、森川さん、東道さん、竹内（征）さん）

福山地区（桑田さん、弓手さん、延広さん、白戸さん、久田さん、内海(智)さん、川瀬さん、猪原さん）

- 10/12（土）-午前中に全アンパサダーは広島に移動。アステールプラザホテル宿泊。

10/12（土）～13（日）-平和公園案内、宮島観光等

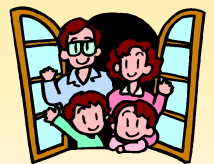
- 10/12（土）フェアウェルパーティー（アステールプラザホテル、フォーシーズン）

- (3) FF西日本ブロック会議、日本大会 2013/10/18（金）～19（土）（米子市）

- 出席予定（弓手会長、猪原事務局長、森川顧問）

- (4) ・第36回FFI世界大会、2013/11/23（土）～25（月）ルイジアナ州ニューオリンズ

- 参加予定（森川ご夫妻、讃井さん）



編集後記

第2号（FFI世界大会特集）の発行から8か月余り経過しての今号発行となりました。その間、FF広島の新会長とFFIの新会長が就任されました。このニュースレターが新しいリーダーを中心とするFF広島の活動を内外にPRする役目を果たせるよう今後も編集活動をしていく所存です。今後ご愛読くださいますよう、よろしくお願いします。

〈編集発行〉フレンドシップフォース広島クラブ

ホームページ <http://www.friendshipforce.jp/hiroshima/hiroshima-profile-J.pdf>

〈広報委員〉松本 浩子・廣森 弥生・中垣 健一 E-mail: k.nakagaki6795@city.miyoshi.hiroshima.jp